



リバーガーデン岸里玉出の完成予想図 (リバー産業提供)

訪日客効果が波及か 新築マンション完売

西成、9年ぶり販売

大阪市西成区で6月に売り出された新築マンションが、即日完売したことが17日、不動産経済研究所の調べで分かった。同研究所によると、西成区の新築マンション販売は平成21年以来9年ぶりで、訪日外国人(インバウンド)効果がマンション需要にも波及したとみられる。

マンションは、リバー産業が手がける「リバーガーデン岸里玉出」で、南海・岸里玉出駅から徒歩1分に立地。平均価格は3341万円、112戸のうち56戸が売り出され、完売した。

インバウンド需要の高まりで、西成区一帯は、星野リゾート(長野県)がホテル建設を計画するなど街の姿が変わりつつある。リバー産業の広報担当者は「これから発展しなくてはならない地域。関西国際空港へのアクセスが良く、今回は外国人の購入もあった」と話した。